



## 日本の目標(2050年カーボンニュートラル宣言と2030年度目標)

- 2020年10月26日、第203回臨時国会において、菅前総理より  
「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。
- 2021年4月22日、地球温暖化対策推進本部及び米国主催気候サミットにおいて、菅前総理は、  
「2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」ことを表明しました。

温室効果ガス排出量 -吸収量 (単位: 億t-CO <sub>2</sub> )		2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標
		14.08	7.60	▲46%	▲26%
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、メタン、N <sub>2</sub> O		1.34	1.15	▲14%	▲8%
HFC等4ガス(フロン類)		0.39	0.22	▲44%	▲25%
吸収源		-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO <sub>2</sub> )
二国間クレジット制度(JCM)		官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO <sub>2</sub> 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。			-

⇒家庭部門においては、66%の削減目標。

次回(広報7月号)は、「日本の取組み」について紹介します。